

平成15年度 再評価実施事業（国庫補助事業）調査

		事業所管部局	国土交通省 都市・地域整備局 街路課	
計画事業名	都市計画道路の整備 東京丸子横浜線		事業担当局	建設局
事業採択年度	着手年度	昭和53年度	認可・承認等年度	昭和53年度
経過年数	26年		該当条項	再評価実施後5年間を経過
完了予定年度	平成19年度		関連事業名	丸子橋整備事業
事業の目的概要課題	<p>事業の目的</p> <p>多核ネットワーク型の都市構造を支える本市都市軸交通幹線網のうち川崎市の中央を横断し、東京都と横浜市を結ぶ主要幹線を整備し、道路交通の円滑化を図るとともに、環境に配慮した質の高い生活空間を形成する。</p>		<p>事業採択時の背景及び契機</p> <p>本路線は東京都と横浜を結び、川崎市の中央を横断する主要幹線道路であり、交通渋滞が激しく交通安全対策上からも早期整備が求められるとともに、特に当該事業箇所は、関連する東京都の丸子橋工事とも整合を図る上からも早急に整備をする必要があった。</p>	
	<p>事業内容</p> <p>【木月】区間 木月～木月住吉町地内 延長L=830m 幅員W=2.5m(現況1.2m) 着手年度 昭和53年度</p> <p>【丸子通】区間 丸子通1丁目～新丸子東2丁目 延長L=749m 幅員W=2.5m(現況1.2m) 着手年度 平成元年度</p> <p>【市ノ坪】区間 新丸子東2丁目～木月住吉町地内 延長L=940m 幅員W=2.5m(現況1.2m) 着手年度 平成10年度</p>		<p>事業採択(着工,未着工)から基準年を経過している主な理由</p> <p>木月工区、丸子通工区については、沿線が商業地域であり、大小の店舗等が密集している。このため事業用地を取得するにあたり営業補償・生活再建等の交渉に多大な時間を要した。</p> <p>市ノ坪工区については、沿道環境改善、交通渋滞の解消を目的として、平成10年度より事業着手し、現在、鋭意用地取得を行っている。</p>	
	<p>事業費規模(単位:百万円)</p> <p>総事業費 約27,045(うち国庫支出金 11,584)</p> <p>執行金額 約22,435(H14末)</p> <p>残事業費 約4,610</p>		<p>現状の課題</p> <p>用地取得率(平成14年度末現在)</p> <p>木月 97%</p> <p>丸子通 99%</p> <p>市ノ坪 60%</p> <p>事業用地取得にあたり関係地権者の協力を得るのに時間を要したが、事業の重要性を理解していただくことにより、引続き用地交渉を継続していく。</p>	

再評価の視点	<p>本路線は、川崎市を横断し横浜市に至る、本市のラダー型交通体系を担う都市軸幹線道路であり、歩行者の安全確保・交通環境の改善の観点からも早期整備が必要である。</p> <p>隣接する東京都側はすでに完成しており、横浜市側も市境については事業を進めているなかで、広域的かつ円滑なモビリティも確保するためにも早期整備が必要である。</p> <p>さらに緊急輸送道路にも指定されており、防災対策・危機管理上からも早期整備する必要がある。</p> <p>また用地取得率が8割を超えていることから、引続き早期整備を図り事業を継続することが必要であると考え。</p> <p>木月工区については、用地取得率97%(残り2件)であり、土地収用法の適用も視野に入れ引続き交渉を継続する。また、横浜市側も市境で事業を進めていることから、十分な事業効果を発現するためにも早期完成を図る。</p> <p>丸子通工区については、用地取得率99%(残り2件)であり、東京都側はすでに丸子橋架け替え工事が完成しているため、十分な事業効果を発現するためにも、早期整備が必要である。残地権者については土地収用法の適用も視野に入れ、引続き交渉を継続し早期完成を図る。</p> <p>市ノ坪工区については、平成10年度より事業着手しているが、今後も用地取得を継続し早期完成を図る。</p>
--------	--

対応方針案	<p>対応方針案</p> <p>継続・継続(見直しの上)・中止</p> <p>対応方針案の考え方</p> <ul style="list-style-type: none"> 本路線は、本市の交通体系を構成する重要路線として位置付けられているとともに、緊急輸送路にも指定されており、防災対策・危機管理上からも早期整備を行う。 取得済み用地が全体の8割を超えており、事業効果の発現に努める。 <p>本路線は、本市の交通体系を構成する主要幹線道路となっていることから、道路ネットワークの形成上からも必要不可欠な路線であり、今後も住民ニーズを十分に把握するとともに、事業の重要性をさらにアピールし、関係地権者の理解を得られるよう一層努力し、事業の進捗を図ることが必要である。</p>
-------	---